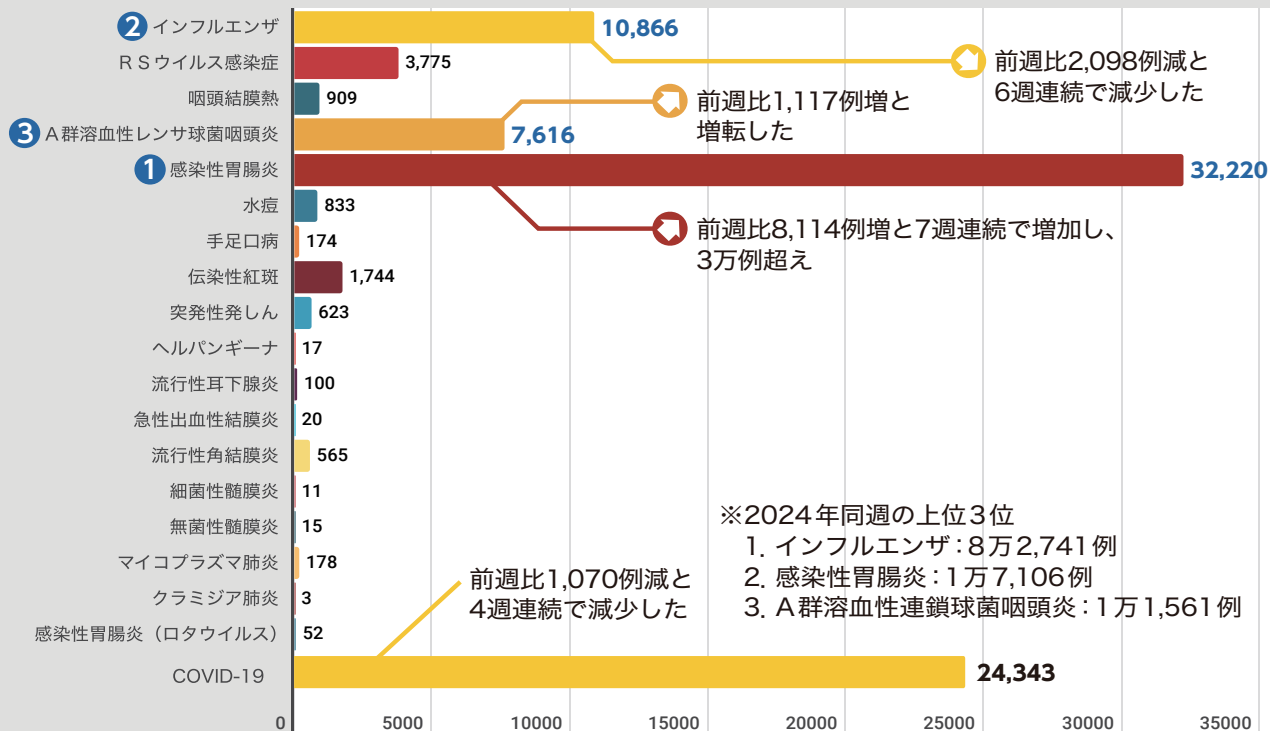




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎が大幅増、3万例超え

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 3,514例
2. 神奈川県: 2,418例
3. 大阪府: 2,098例

定点当たりの報告数(10.32)

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 21.03 | 4. 愛媛県: 16.39 | 7. 広島県: 13.95 | 10. 東京都: 13.36 |
| 2. 熊本県: 19.06 | 5. 鹿児島県: 14.80 | 8. 島根県: 13.83 | 11. 千葉県: 13.24 |
| 3. 香川県: 17.21 | 6. 宮崎県: 14.42 | 9. 山口県: 13.53 | 12. 福岡県: 12.90 |

② インフルエンザ

報告数

1. 北海道: 828例
2. 埼玉県: 810例
3. 東京都: 655例

定点当たりの報告数(2.21)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 8.66 | 4. 栃木県: 4.53 | 7. 島根県: 3.66 | 10. 群馬県: 3.11 |
| 2. 新潟県: 6.07 | 5. 岩手県: 4.35 | 8. 宮城県: 3.47 | 11. 埼玉県: 3.10 |
| 3. 山形県: 4.59 | 6. 北海道: 3.73 | 9. 長野県: 3.31 | 12. 千葉県: 3.10 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 643例
2. 北海道: 573例
3. 福岡県: 491例

定点当たりの報告数(2.44)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 5.42 | 4. 岩手県: 4.67 | 7. 北海道: 4.21 | 10. 山形県: 3.73 |
| 2. 富山県: 5.17 | 5. 鳥取県: 4.58 | 8. 福岡県: 4.13 | 11. 長崎県: 3.66 |
| 3. 新潟県: 4.95 | 6. 茨城県: 4.47 | 9. 愛媛県: 3.75 | 12. 山口県: 3.35 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は8,114例増と7週連続で増加し、3万例超え。大分県では定点当たりの報告数が21.03と警報レベル(20.00)を超えた。インフルエンザは6週連続で減少した。定点当たりの報告数が注意報レベル(10.00)を超えている地域はなかった。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は1,117例増と増転した。COVID-19は4週連続で減少した。伝染性紅斑はわずかに増加し、青森県では定点当たりの報告数が2.46と警報レベル(2.00)を超えた。RSウイルスは7週連続で増加した。定点当たりの報告数は、山口県で4.30と突出し、以下、奈良県で2.74、三重県で2.58、兵庫県で2.30、福岡県で2.18と続いた。インフルエンザは減少が続いている一方で、感染性胃腸炎は大幅に増加した。今後の動向に留意したい。